

2024年12月期ハイキング「館林市」の報告

実施担当：福祉環境科

2024年12月6日(金)、師走に入りましたが穏やかな晴天の下、歴史深い町を散策してきました。館林は江戸幕府にとって重要な拠点で江戸時代、徳川四天王の一人榊原康政によって整備され、5代将軍徳川綱吉を輩出しました。

9時10分に秩父鉄道熊谷駅改札口に集合しミーティング後、参加者11名で出発しました。



9時10分：秩父鉄道熊谷駅改札口に集合し、朝のミーティング後出発しました



秩父鉄道で羽生に向かう



10時10分：東武鉄道館林駅に到着
明治40年に開通した東武鉄道こそ、館林の今日の発展を約束した事業だったとのことです



10時15分：館林市散策を開始する



10時17分：正田記念館に到着

1853年に創建され、登録有形文化財に指定されている。正田家(上皇后美智子さまの家系)300年の家系図に始まり、創業当時の醸造道具や昭和初期のポスターなど江戸時代から明治、大正、昭和にかけての記念品を数多く陳列しており正田300年の歴史を鑑賞する



10時45分：館林城鐘に到着

寛文13年(1673)、館林藩主徳川綱吉が鋳造させ、城内をはじめ城下町へ時を知らせた



11時：觀性寺に到着 観性寺の仁王門と六地蔵尊



11時30分：本日の昼食所「ジョイハウス桃林」に到着し、温かい中華を食す



12時40分：ふれあい橋で集合写真を撮影



ふれあい橋から鶴生田川を望む



冒険広場のアスレチック遊具で無邪気に遊ぶ各位



12時50分：旧秋元別邸に到着

最後の館林藩主の旧秋元別邸と、邸内モミジの紅葉を楽しむ





寒桜が数輪青空の中に浮かんでいました



13時：城沼（じょうぬま）に到着

城沼は、日本遺産に登録された「里沼」のひとつで、水面はゆっくりとしたたずまいをみせ、カルガモや水鳥が遊び、夏はハスの花が沼面に群生します



13時20分：善長寺に到着 善長寺前のベンチで一息入れる



善長寺の寿老人と鐘楼堂



城沼沿いの「朝日の小路」
桜時の美しさが目に浮かびます



14時10分：「田山花袋」旧居に到着
田山花袋は上毛カルタに「誇る文豪田山花袋」と詠われている



14時30分：武鷹館に到着
休館日だった為、塀の上から撮影する



14時45分：旧二業見番組合事務所に到着
当時の花柳界の繁栄ぶりを彷彿とさせる



16時5分：秩父鉄道熊谷駅に到着
最後の挨拶後解散となる

師走に入りましたが、風も無く穏やかなハイキング日和で、歴史深い館林を楽しく散策できたと思います。帰り道を一部間違えたり、帰りの電車に一名が乗り遅れるアクシデントが有りましたが、無事完遂できて良かったです。次回1月10日(金)は、前橋の街歩き(朔太郎と歩く文学散歩)の予定です。寒さに負けず奮って参加しましょう。

記：笹沢